

令和7年度 学校園評価

(様式2)

学校園名 加古川市立尾上幼稚園

1 教育目標	『心豊かに学び合い 育ちあうこどもの育成』
2 基本方針	<p>目指す幼児像</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 心も体も健やかで明るい子 ・ 思いやりがあり心の優しい子 ・ 様々な経験を通して主体的に遊ぶ子 ・ 自分の思いを伝え素直に表現する子 ・ 感じる心 考える力がある子
3 指導目標	<ol style="list-style-type: none"> 1 基本的な生活習慣を確立する。 2 好奇心・探求心の芽生えにつながる豊かな体験を重ねる。 3 さまざまな人と関わる中で愛情や信頼感、自己肯定感を育む。

評価基準

A:できている

B:だいたいできている

C:あまりできていない

D:できていない

重点目標	評価項目	達成状況	自己評価の適切さ
基本的な生活習慣を確立する	規則正しい生活を送ることができるようになったか。	A	家庭としての課題が多いが園でも根気強く指導してほしい。
	自分の身の回りのことをしようとするようになったか。	A	どこまでが幼稚園ですべきことなのか微妙ではあるが、家庭と子どもを育ててほしい。
	人の話を聞こうとするようになったか。	A	自分の思いを伝えたいという気持ちが育っていることは望ましい。自己表現を丁寧に受け止めていくことで周りの子ども達の聞こうとする姿の育ちにつなげてほしい。
	体を動かして遊ぶようになったか。	A	広い園庭で十分に遊んでいることが素晴らしい
好奇心・探求心の芽生え	季節・時期を感じた遊び・保育内容を行ったか。	A	いつ見に来てでも自然を生きし充実した遊びを子ども達が楽しんでいた。
	やってみたい、もっとしたいと興味や意欲を育む保育内容だったか。	A	子ども達大きな成長を感じている。教師は自らの保育内容の取り組みに満足することなく、反省・評価を継続して行ってほしい。
	自分の考えや思いを伝えあう保育内容だったか。	A	思いを伝えたいような遊びを楽しんでいるのだと思う。
様々な人と関わる中で愛情や信頼感、自己肯定感を育む。	友達との関わりが深まるような保育内容だったか。	A	多国籍の子ども達で過ごすことは、未来に向けて必要な経験である。
	いろいろな人に親しみを感じられるような機会をつくることができたか。	A	シニアクラブ・小学校との関わり等を推進した。
	友達や周りの人を思いやる気持ちを育むことができたか。	A	いろいろな人に感謝したり思いやりする心を大切にしてほしい。